

福山 龍馬と 鞆の浦

に みどりラインマップ

詳しい資料は
情報センターで!

仙酔島へ(5分大人往復240円) 弁天島

1 福山市鞆の浦歴史民俗資料館



[利] 9:00~17:00(入館は16:30まで)
[料] 一般150円(高校生までは無料)
[休] 月曜(祝日の場合翌日)・年末年始

昔ながらの鯛漁法の模型やイカリづくりの鍛冶場、鞆の浦とゆかりが深い箏曲家・宮城道雄の愛用琴などの遺品を展示している。「潮待ちの館」の愛称で親しまれている。鞆城跡からの眺望も美しい。

2 沼名前神社



平安時代の「延喜式」という法令にも記載されている古い神社。「大綿津見命」を奉る渡守神社と「須佐之男命」を奉る祇園宮と一緒に奉られている。

3 いろは丸展示館



[利] 10:00~17:00
[料] 小学生以上200円
[休] 無休

1867年(慶応3年)鞆沖で沈んだ龍馬と海援隊の船、いろは丸の引き揚げ物、龍馬のかくれ部屋、沈没状況のジオラマ等が江戸期に建てられた太い梁など堂々たる建物、鞆の町では「大蔵」と呼ばれている蔵の中に展示されている。

4 むろの木歌碑



730年(天平2年)大伴旅人が大宰府の役人の任期を終えて鞆の浦によった時に詠んだ歌。

5 常夜燈



鞆の浦のシンボル。このあたりでは燈籠塔(とうろうど)と呼ばれている。船の出入りを誘導するもので、1859年(安政6年)に建てられた。高さ5.5m、基礎石は3.6m。竿柱の南面に「金毘羅大権現」北面に「当所祇園宮」の石額を掲げている。港の常夜燈としては日本一の大きさ。

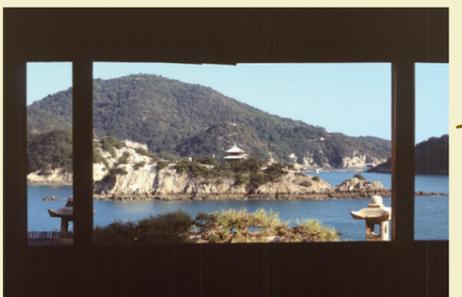
6 太田家住宅・鞆七卿落遺跡



1863年(文久3年)8月23日、尊皇攘夷を主張する三条実美ら7人の公家は公武合体派に追われ長州に下る途中、鞆の浦に寄港。ここ旧「救命酒屋」に立ち寄った。国重文。

[利] 10:00~17:00
[料] 入館料/中学生以上400円・小学生200円
[休] 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

7 福禅寺・対潮楼



海岸山千手院福禅寺の本堂に隣接する対潮楼は、江戸時代の元禄年間(1690年頃)に創建された客殿で国の史跡に指定されている。座敷からの海の眺めは素晴らしく、1711年、朝鮮通信使の李邦彦は「日東第一形勝」と賞賛。1748年、洪景海は「対潮楼」の書を残している。

[利] 8:00~17:00
[料] 拝観料/一般200円(小学生以上)



グリーンライン
入口まで
1.6km